

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	景観形成事業			
担当部署・課長名	都市計画	課	地域整備	係 課長名 神山 尚

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	4 - 3	-
【施策名】 都市景観の形成	総合計画書 (ページ)	87	

予算名	款 8 土木費	項 3 都市計画費	目 1 都市計画総務費	事業 5 景観形成事業
-----	---------	-----------	-------------	-------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内に設置している美術工芸品(モニュメント)	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 美術工芸品27体
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 適切な維持管理及びPR	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 美術工芸品27体の維持管理の実績 美術工芸品の設置場所や由来を紹介した「モニュメントマップ」の市内の公共施設等における配布部数
	③ そのために何をしましたか。 美術工芸品の点検 モニュメントマップの配布	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 美術工芸品の点検…随時 モニュメントマップの配布部数…480部

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
	対象指標	①の数値	件	27	27	27		
	成果指標	②の数値	部	970	301	480		
	目 標	②の目標値	部				400	400
	目標設定の考え方	モニュメントマップの配布部数						
	活動指標	③の数値	件	2日間 (延べ6人)	2日間 (延べ6人)	2日間 (延べ6人)		

3 経費	事業費(実績)		円	14,010	179,580	14,010	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	14,010	179,580	14,010	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
	職員人件費(再任用以外)	円	826,700	825,300	824,400		
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
	事業費+人件費	円	840,710	1,004,880	838,410		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 基本構想(昭和57年制定)に基づく都市景観事業の一環として、平成元年から良好な都市景観の形成を目的に美術工芸品の設置を開始した。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 平成8年以降は新規で美術工芸品の設置は行っておらず、適切な維持管理に努めている。また、美術工芸品を多くの方に知って親しんでもらうため、モニュメントマップを発行し市内の駅や公共施設で配布している。

仕 事 の 内 容	景観形成事業				
担当部署・課長名	都市計画	課	地域整備	係	課長名 神山 尚

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	市民から市の歴史・文化にふれられる良い取組みとの評価がある。				

6 市民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点				

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容				
	美術工芸品の設置は良好な都市景観の形成を目的に実施されたが、市の歴史や文化を紹介する役割も担っており、担当部署の変更も含め積極的な活用を検討する余地がある。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。				
モニュメントマップを都市計画課窓口・市内公共施設で配布した。また、市内の駅等にもモニュメントマップを設置し、市の歴史や文化の紹介に役立てた。					
(3)(2)を踏まえた今後の課題					
モニュメントマップやホームページの見やすさの向上を図る必要がある。					

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） より見やすいモニュメントマップやホームページを作成する。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 モニュメントマップやホームページの写真等の変更を行う。				
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				

成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は維持する。
----	-----------	----	-------------